

令和2年度第3回探鉱技術委員会(運営委員会)報告

探鉱技術委員会委員長 中西 健史

開催日時・場所

2020年12月2日(水) 15:30-16:30 オンライン開催

参加者: 24名(敬称略)、中西・小林・磯野・榎谷(INPEX)、白木(MOECO)、高井・有坂・加藤・佐藤・新部(JAPEX)、安河内(JX)、安藤(茨城大)、池(JOGMEC)、狩野(東京大)、河合・澤田(地科研)、河野(関東天然瓦斯)、石本(CIECO)、戸丸(千葉大)、高橋・朝比奈(産総研)、内田(サミットエネ開)、真田(JAMSTEC)、宮川(協会事務局、Zoom会議ホスト)

議事内容

1. 令和2年度委員会体制

- 事務局・物探分科会座長: INPEX・井川氏から INPEX・榎谷氏に交代
- 事務局会計係: INPEX・井川氏から INPEX・磯野氏に交代
- 日本地球惑星科学連合大会プログラム委員: 千葉大・戸丸氏に加えて JAMSTEC・真田氏が就任

2. 定例連絡: 第4回理事会報告、第7・8回幹事会報告

3. 委員会活動状況

■ 分科会活動:

- 分科会横断的話題提供を下記の通り開催

タイトル「Overpressure evolution controlled by spatial and temporal changes in the sedimentation rate: Insights from a basin modeling study in offshore Suriname」

講演者: INPEX 荷福 洸氏

日時: 2020/12/2 16:30-17:30

- 砂岩・炭酸塩岩・物探・探鉱新技術分科会ともに、次回話題提供企画中

4. 令和2年度学術講演会 地質・探鉱部門シンポジウム・個人講演について

■ 開催当日の様子を下記の通り報告

開催期間: 2020年10月25日~10月31日(オンライン開催)

シンポジウム: 7講演 + オンライン討論セッション(RITE 横井氏司会)

個人講演: 30講演(口頭発表27 ポスター発表3)

優秀発表賞(学生発表): マルティッツィ パオロ氏(秋田大学大学院国際資源学研究科)ほか
「堆積学および地球化学的分析に基づく津軽堆積盆地の中新統珪質泥岩層の石油根源岩ポテンシャルと堆積環境」

- 石油技術協会事務局の学術大会アンケートに合わせて地質・物探部門シンポジウム・個人講演に関するアンケートを実施(運営委員会では12/2時点の回答集計を速報) ○対象者: 学術大会への参加登録者 ○アンケート期間: 11/29-12/7 ○回答者数: 55名(12/8時点) ○結果概要: 時間の制約なく関心のある発表を視聴できる点など、オンライン開催への満足度は高く、実開催が可能になっても動画配信を求める声があった。一方、ライブ感の不足への指摘や個人講演においても活発な質疑応答のためにライブセッションの開催を希望する声が寄せられた。

- 協会誌シンポジウム特集号原稿執筆、講演者に既に依頼済み。来年1月18日締切。現在査読者選定中。2月末査読完了予定。
5. 令和3年度春季講演会 地質・探鉱部門シンポジウム・個人講演準備状況
- シンポジウムテーマについて、「貯留層可視化に向けた物理探査の挑戦と将来展望」及び「物理探査技術進展による地下地質評価精度の向上と課題」に候補を絞り込み、それぞれのテーマで講演可能か、各会社及び関係組織に問合わせ中。
6. 特別見学会
- 令和2年度特別見学会（物理探査編）は令和3年3月上旬にWEB開催を計画中。
7. 関連学会
- 2021年度日本地球惑星科学連合大会の石油技術協会の学協会セッションとして「ガスハイドレートと地球環境・資源科学」を登録。
8. その他
- G&G若手技術者向けアンケートを実施 ○対象者：35歳以下あるいは入社10年目以下のG&G技術者 ○アンケート期間：11/20-11/30 ○回答者数：66名 ○回答したG&G若手技術者の9割以上が交流の場が「少ない」あるいは「全くない」と回答。主な交流の機会は、学会・巡検・業界セミナーとの回答が多く、探鉱技術委員会の活動もG&G若手技術者の交流の場として貴重であることが分かった。分科会の活動の中で若手交流の機会を企画していきたい。
9. 次回 令和2年度第3回探鉱技術委員会
- 1月下旬オンライン開催の予定

以上